

鉄筋加工帳（拾い出し表）

記入例

重量 (kg) = 1本の長さ (m) × 本数 × 単位質量 (kg/m)

工事名	〇〇邸新築工事	作成日	2026年10月10日
図面	基礎伏図・基礎梁リスト	作成者	〇〇

No.	部位	符号	呼び名	形状	加工寸法 (mm)			1本の長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	重量 (kg)	備考
					a	b	c					
1	地中梁 上端筋	FG1	D19	直	6,800			6,800	3	2.250	45.9	
2	地中梁 下端筋	FG1	D19	直	6,800			6,800	3	2.250	45.9	
3	地中梁 腹筋	FG1	D10	直	6,300			6,300	2	0.560	7.1	
4	地中梁 あばら筋	FG1	D10	スターラップ	250	550		1,800	31	0.560	31.2	@200・フック込み
5	地中梁 幅止め筋	FG1	D10	両フック	250			400	11	0.560	2.5	@600・フック込み
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												

径ごとの合計

呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	合計
単位質量 (kg/m)	0.560	0.995	1.560	2.250	3.040	3.980	5.040	6.230	
本数	44			6					50
長さの合計 (m)	72.8			40.8					113.6
重量 (kg)	40.8			91.8					132.6

総重量 132.6 kg (0.133 t)

重量 (kg) = 1本の長さ (m) × 本数 × 単位質量 (kg/m)。単位質量は JIS G 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）の異形棒鋼の値で、SD295・SD345 などの種類が違っても、呼び名が同じなら同じ値です。1本の長さは切る長さ（フックの余長を含む）を書き、曲げたときの伸びの見込み方は加工場・元請の決まりに合わせます。発注の前に図面・特記仕様で確かめてください。